

安全データシート

作成日：2003年11月18日

改定日：2023年06月09日

1. 製品及び会社情報

製品名：液体サビおとし

会社名：鈴木油脂工業株式会社
住所：大阪府大阪市東淀川区下新庄 1-8-23
電話番号：06 (6326) 1118
FAX 番号：06 (6326) 0181
緊急連絡先：化成品事業部
電話番号：06 (6326) 1118
推奨用途及び使用上の制限：浸漬用錆取り

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

金属腐食性物質 区分 1

【健康に対する有害性】

急性毒性（吸入：ミスト） 区分 5
皮膚腐食性／皮膚刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
生殖細胞変異原性 区分 1
生殖毒性 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性）

※上記で記載がない場合の危険有害性は、区分に該当しない。

【絵表示又はシンボル】



注意喚起語

危険有害性情報

危険
金属腐食のおそれ
吸入すると有害のおそれ
重篤な皮膚の薬傷／眼の損傷
重篤な眼の損傷
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
他の容器に移し替えないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
保護手袋/衣類及び保護眼鏡/保護面を着用すること。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚（又は毛髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】

容器を施設して涼しいところで保管すること。
 耐腐食性内張りのある耐腐食性容器で保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号	
				(化審法)	(安衛法)
リン酸	7664-38-2	15～20	H ₃ PO ₄	(1)-422	既存
非イオン界面活性剤	—	—	—	—	—
両性界面活性剤	—	—	—	—	—
エチレングリコール	107-21-1	4.5	C ₂ H ₄ O ₂	(2)-230	既存
精製水	—	—	H ₂ O	—	—

注意：上記記載の—は、不明又は非公開を示す。

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。水でうがいをすること。
 皮膚に付着した場合： 多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。
 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合： 多量の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
 応急措置をする者の保護： 特に必要としない。

5. 火災時の措置

消火方法： 周囲の火災に応じた消火方法を取る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避けること。
 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を講じること。
 封じ込め及び浄化方法・機材： こぼれたものはウエス等に吸収させるか、極力かき集めて密閉容器に回収する。残りは大量の水で洗い流すこと。
 二次災害の防止策： 特に必要としない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取扱い技術的対策： 適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。
 局所排気・全体換気： 局所排気、全体換気を行う。
 安全な取扱い上の注意事項： 皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいならない。取扱い後はよく手を洗う。

酸性なのでアルカリ性、塩素系の製品との接触を避ける。

保管

保管条件： 容器を密閉して冷所で換気の良いところで貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

成分名	管理濃度 (安衛法)	許容濃度		
		日本産衛学会	ACGIH(TLV-TWA)	ACGIH(TLV-STEL)
リン酸	—	1mg/m ³	1mg/m ³	3mg/m ³
エチレングリコール	—	—	—	100mg/m ³ (蒸気)

注意：上記記載の—は、設定されていないことを示す。

設備対策： 特に必要としない。
 呼吸器の保護具： 適切な保護マスクを着用すること。
 手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
 眼の保護具： 適切な保護眼鏡を着用すること。
 皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用すること。
 衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など： 透明液体
 臭い： 無臭
 pH： 0~2
 沸点： データなし
 融点： データなし
 引火点： データなし
 発火点： データなし
 爆発限界
 上限： データなし
 下限： データなし
 蒸気圧： データなし
 相対蒸気密度(空気=1)： データなし
 密度： 1.2(20℃)
 溶解性 水
 オクタノール/水分配係数： データなし
 分解温度： データなし
 臭いのしき値： データなし
 蒸発速度： データなし
 燃焼性： データなし
 粘度： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の使用条件で安定。
 反応性： アルカリと反応して発熱する。
 避けるべき条件： アルカリ、塩素系製品との接触。
 避けるべき材料： アルミニウム、銅、銅合金。
 塩素系製品と接触した場合、塩素ガスを発生する。
 危険有害分解生成物： データなし。

11. 有害性情報

急性毒性：

リン酸	経口	ラット	LD ₅₀	1,250mg/kg
	経皮	ラビット	LD ₅₀	2,740mg/kg
	吸入	ラット	LC ₅₀	>850mg/m ³ (1hr)
非イオン界面活性剤	経口	ラット	LD ₅₀	3,000mg/kg

エチレングリコール	経口	ラット	LD ₅₀ 2,0000~10,200mg/kg
皮膚腐食性・刺激性：			
リン酸		ウサギ	595mg/24h
眼に対する重篤な損傷・刺激性：			
リン酸		ウサギ	119mg
生殖細胞変異原性：			
両性界面活性剤		ラットおよびマウス,優性致死の報告,マウス生殖細胞における異数性誘発の報告(エタノール DFG(1999) IARC(1988))	
生殖毒性:			
両性界面活性剤	ヒト	アルコールの習慣的な大量摂取により胎児に対する奇形その他の悪影響(エタノール DFGOT(1996))	
非イオン界面活性剤	妊娠率や胚数の減少がみられる。		
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)：			
リン酸	ミストは上気道に刺激的であることから区分3 (気道刺激性) とした。		

1 2. 境影響情報

魚毒性：

リン酸	TLm 値 138ppm (カダヤシ)
エチレングリコール	LC ₅₀ >100mg/L (ヒメダカ/96h)

生態毒性： データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装材料：

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際輸送分類

国連番号：	3265
国連分類：	8
容器等級：	III

国内規制

陸上輸送：	労働安全衛生法等の規定に従う。
海上輸送：	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送：	航空法の規定に従う。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：

リン酸	第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物質 施行規則第 326 条 腐食性液体
エチレングリコール	第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物質

PRTR 法： 非該当

消防法： 非危険物

毒物及び劇物取締法： 非該当

1 6. その他の情報

責任の限定について

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。